

お茶の時間



原発事故から10年。問題が解決したのだろうか。東京電力の体質は依然変わらず。被災した人たちは、今も目にみえない汚染と闘っている。

自然エネルギー、再生可能エネルギーに距離を置く国。大都会への電力供給のために地方に負担を強いる。国会議員こそ地方に住むべきと思う。地方の暮らしを肌で感じなくて何かわかるのだろうか。自分の目で知る。大事なことよ。

コロナ禍でマスク着用が当たり前になり、顔の大半が隠れ、油断したのか、居眠りする議員が増えた。今季マスクしては喉がいか

いつもなら賑やかな新年。コロナ禍で誰も来ない正月になった。一月二日、書き初め動画受信。小学五年生の孫と父親が書いてくれた。ついでに私も筆を揮う。もうすぐ新年。心踊る春のはじめに、コロナの終息が全くみえない。新しい風よ、吹き飛ばしてくれ。



心に響く言葉

生活を彩る花暦

「問題。全国には県を代表する木があるが、新潟県代表の県の木、と言えは？」と若いスタッフがたちに出すと、少し考えて、「ツバキマ。」

名の由来は、雪に耐えて育つことにあるとか。新潟県を中心とした豪雪地帯に多い。我家には、植木鉢に二本、苗木から育てている雪割がある。夫が上越市、頸城地区にある坂口記念館で買ったもの。

この記念館は、農学博士・坂口憲一郎の業績を主に、日本酒に関する展示施設で、雪割園も設けられている。雪割は、日本固有種。新潟日報新聞、子ども向け「ニッポンクイズ」で農林学校の先生が世界で初めて発見した、とされることを知った。

新潟県旧東蒲原郡立農林学校、現在の新潟県立明高校の先生が、麓山で一般の橋とは異なる品種を発見。

今日(六日)、花木鉢の雪割が赤い蕾一輪つけといるのをみつけた。嬉しい。

庭に目をやれば、いつの間にか梅が満開。水仙も優い、海で咲いている。牡丹の蕾も日毎にふくらんで、眩しいほどの黄の大輪が咲く。四月下旬か、梅も満開。ヒヤシンスも、チューリップも、伸び出し、チューリップは、県の花であり、新潟の花でもある。

隣県富山の方か知急度は高いようだが、新潟のチューリップは、切り花出荷量は、全国一位。球根出荷量、全国二位を誇り、県を代表する花とされている。

昨年十月、いつもより多く球根を植えた。咲いた咲いた、チューリップの花が、赤、白、黄色、どの花、オケも、きれいな。風流なく暮らせる世の中に、なりたいように。

歯のよもやま話 第四十八話

歯の本 三

今回はちよつと手の内を公開します。私の持つている入手困難な本を自慢させていただきます。これまでのコラムのいくつかは、これらの本からヒントをもらっています。

まずは「よわひ草・小林商店(現在のライオン株式会社)」。小林富次郎さん編輯(編集)。「よわひ」とは「齢」、年齢のことですが歯偏がついていて歯のことのようです。昭和二年(1926)に同社で開催した「歯展」の資料を編集し、昭和八十年(1935)に発行したものです。古今東西の歯に関する雑学を網羅していて恐ろしいほどです。なかなか読むことができない本ですが、新潟大学図書館旭町分館の藤田文庫に全巻揃っています。また他に保管している図書館が全国に数カ所あります。東京都で開業されている好事家の先生にお話ししたところ、神奈川県立川崎図書館で全巻コピーされ、そのまたコピーをいただきました。やはり手元にあるとすぐ参照でき便利です。



ついで「歯の歴史館・日本医療文化センター」山田平太さん、新藤恵久さん著、



1981年。明治時代頃までの歯に関する資料が色刷りで整理されておりわかりやすく大変参考になります。

「浮世絵に見る歯科風俗史・医歯薬出版」、中原泉さん、新藤恵久さん、本間邦則さん著。1978年。歯ブラシ、お歯黒、歯の診療風景等の浮世絵が多数のついています。



「Dentistry: an illustrated history (歯科医学 画像で示すその歴史)」。Harry N. Abrams, Inc., Ring, Malvin E. 著。1985年。たいへん大部な本で画像も多く日本以外の様子がよくわかります。もちろん日本についても触れてあり参考にあります。印刷製本が日本で行われているようで、おもしろいですね。大学にいた時の同僚がヨーロッパ旅行の際、列車の中で著者に会ったと言っていました。本が本当かな。



ドイツ語では「Die Zahnheilkunde in Kunst- und Kulturgeschichte (芸術文化史の中の歯科)」。DuMont, Heinz E. Lässig と Rainer A. Müller 著。ドイツ語はちよつと...。どちらも抜歯が見せ物になつて表紙が意味深。



子田晃一

アルカリイオン水で洗濯。消毒も除菌も

昨年11月頃だったか、「ほとんど水です」とささやく洗剤コマーシャルが目に残った。一般に出回っている洗濯用洗剤は、ほぼほぼ水。だ。

他社メーカーからクレームがつかないような消費者からは「水を買わされている」とクレームがくるのでは？と思いつた。まさかTV画面で見かけなくなると。年が明け、しばらくして時折同じコマーシャルが流れている。

いつも使っている洗濯用洗剤は多量剤入りで、香りの強いものを愛用。毎日洗濯するし、ひどく汚れる事も無い暮らし。洗剤量も少々めだ。そもそも水だけだと汚れは落ちる事もない。ほぼ水だけの洗剤は、むしろ環境に優しいといえるのでは？

水の中に入ると水素の気泡を発生しアルカリイオン水と変わる。洗剤は市助の合成洗剤と同様。消臭力10倍除菌効果は99%以上という優れもの。

洗濯槽内の汚れ、カビが取り、排水ホースの排水口の汚れが徐々に軽減。効果は約300回持続。

洗剤は通常の半分、肥料として植物などに与える。等々、使用説明書にあるように。

休日、録画してあったTV番組「かっちゃん」を見ていたら、合成洗剤を一切使わないコインランドリー会社「オアシスプラス」を紹介していた。アルカリイオン水のみで洗濯するという。商品は、マグネシウムで洗濯するという商品がある。と見ると、結構調べた。

茨城県の金属加工会社・宮本製作所で商品化した「洗剤マグちゃん」は、1個100g、純度99.95%の金属マグネシウム粒50g入。

購入後、使用50日経過。洗剤を入れる手間が省けた。洗濯槽内はキラキラお風呂にも効果あるかもと浴槽に入れてみた。肌かすべスベ(肌のせい?)と浴槽内の大量のアルカリイオン水をそのまま排水ではもたない。浴室の床にたまり流してからあがるようにしたら赤カビの発生が弱まった。

浴室の二階にあるを、時折、換気時に排水溝から吸い上げてしまう不快臭がなくなった。

色々な効果が徐々に出て、面白い。

マグちゃんの始まりは、ベビーマグ。赤ちゃんの肌着洗濯に安心、優しい。と子育て中の親たちの口コミで広まった。



ピンクとブルーの色のマグちゃんを購入。

粒が黒ずんだら、水の中でこすって洗い流すだけで良い。

価格 洗剤マグちゃん 2袋 2980円 (送料込み)
 マグちゃん 確かに良品だ。
 旭化成フュージョン(三次元立体編物) 使用。

浴槽内使用には 300gで可。というので、ストッキングと小ぶりの洗濯用ネットで二重にして作り入れてみたが、干すには重すぎる不便。通販で上質の洗濯用ネットを見つけた。

このまま干すは大変。HAPPY MAG 1200g入 2980円
 マグネシウム洗剤ランドリーネット3袋セット 700円(UTONE) (袋は別売りのもの使用)



マグちゃん製造は、安心、安全にこだわって製造している。と代表取締役・宮本さんの談話を読み、知った。せうか出合った商品。上手に付き合おうと思っている。

いいもの みつけ!



10吹出し仕様。取柄、1m。本数で10吹出し 1078円!!
 身体の様々な所に問題発生。食卓、変な呼吸し、喉が詰まってる。楽しく吸えるものは? ぞんぞん吹出した。1mは結構大変だが、今ではラクラク。やはり、やはり、やはり、効果あるな。

月の つぶやき
 寂しいし、愉快なの。CDで探検を聴いても、何だかつまらない。落語家の生芝居、表情に観客の反応も皆まとも、楽しい、愉快なの。ボヤいても仕方ない、仕事、頑張ろう。

二月下旬、新潟日報紙面、書籍紹介でみつけ、かっちゃん一家で暮らした。フィンマークで出合った、ドイツ人家庭を思い出した。

とにかく室内がきれいに磨かれている。夫人の片手に小さな布切れが、歩く度にドアノブをサッと拭き、棚もさっさと拭き取っている。

高い棚の上に飾られた物もほこりがつかない。掃除は、曜日ごとに決めた場所を、さっさとやり、残りの場所は、サッと片付けるだけで、常にきれいに過ごせる。このことだ。生活全般、合理的だ。

本に書いてあることは、私も実践していることばかりだ。我が家、協力が大事。我が家は、私にほんの少しの手助けで、良いものだけだ。私は、きれいな好きだが、掃除機で、のびから。



ドイツ流掃除の賢人 (文庫)
 作者 沖 幸子
 発行 光文社 2005年初版
 価格 629円+税

掃除が好きでない若者の、ドイツ生活2年間で「きれいに暮らすこと」に目覚めた。ドイツ流掃除は、シンプルでクリーン。

いいなこの本